

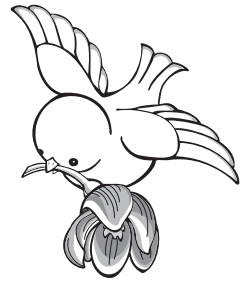
発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

チボリ国際里親の会会報 2011.2.25

Japan Overseas Foster Parent Association

発行年4回（2月、5月、8月、11月）

- 1 ……支援契約終了とその後
- 2 ……理事会報告
コミュニティだより
- 3 ……子どもたちの未来を拓く道
- 4～5 ……活動報告
- 5 ……会員のひろば
大学奨学生からの手紙
- 6 ……事務局からのおたより



学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

支援契約終了とその後

会長 南 昌宏

「貧しく 読み書きできないことで、チボリ族の存続が危うい。自立と存続のかぎは子どもの教育にある」という酋長マホークの訴えに共感した、サンタ・クルス・ミッションと藤原輝男初代会長の熱い思いが原点となって、支援活動は始まりました。

チボリの人々が、“支援を必要としない状況”になることを願いながら、現地で活動するサンタ・クルス・ミッションと私たち里親の会は、就学支援を30年間続けることができ、現地は望んでいた社会へと徐々に変わってきました。

本会は発足14年目(1993年)で、会員が3,150人とピークになり、多額の資金で2年後には、小学校21校、高等学校3校、大学1校と、私学による就学環境が拡大充実していきました。

さらに、2002年には大学奨学金制度ができたことで、勉強意欲の高まりとともに、現地社会の良き指導者が生まれ、民族の自治自立に大きく貢献しつつあります。

また、私学による就学児の救済と平行して、各地で小学校の公立化が進み、私学の役割を終える学校も出できました。

こうした状況にあった約10年前、サンタ・クルス・ミッションのマリア・ガンダム理事長は、「おいおい公立学校ができれば子どもを移し、親の生活支援の方向をめざしたい。そして、親が学費を払えるようになればいいと思う」と述べていました。

しかし、引き続き支援を願い続ける現地と、チボリ族への愛着とが相まって打ち切りがたく、3カ年支援契約に改めて再出発することとなりました。その後も、契約更新は繰り返されて今日に至っていますが、一方で会員は約700名と減り続けています。

現地では、ずっとチボリ国際里親の会から支援が

続くと考えているようです。しかし、支援金が学校教職員の給料となって就学を実現しているため、私たちには、送金を止めるに止められないという心情も生まれます。

したがって、現地から、“もう支援は必要ない”という声は、今後も上がってこないと思われま

そこで、昨年5月、30年間の支援を節目に現地の代表3人を招き、合同会議をひらいて、支援終了を念頭においた話し合いを行いました。

その中で、会員減少による送金額の減少がさらに加速し、これまでと同様の支援を続けることができなくなっていることを伝えました。

そのため、今から、小学校の公立化を進めるなど、自立経営に備える対策についてなどを話し合いました。この時に、私たちの支援によって、チボリ族の就学意欲と自助努力が生まれて、地域社会の指導的立場に着く人が徐々に増えてきている様子が見えてきました。

席上、変わらない支援の要望はありましたが、その内容は高度な施設や備品に関するものが多く、すでに、それらを必要とする社会へと発展してきたことが伺えます。

こうした高いレベルの事業は現地の自助努力に委ねるべきもので、本会の目的である就学支援の域を超えたものと考えられます。

よって、今後の未就学児の支援活動は、サンタ・クルス・ミッションの学校法人と、現地自治体の二人三脚に委ねることが望ましいと考えられます。

昨年11月の理事会で再検討した結果、平成25年5月以降の支援契約の更新はしないことを確認しました。この件については、現地にすでに伝えてあります。

今後、会員の皆さまに支援終了とその方法についてお計りしたいと思っています。

理事会報告

2011年（H23年）2月2日12時30分より事務局において

会長、副会長、理事3名、事務局の出席のもとで理事会が開催されました。

最初に、事務局から今期12月末の会費収入及び会員状況について下記の報告がありました。

- *会費収入計：991万円（前年985万円）
- *会員状況：正会員642名、賛助会員107名
（会費未納・滞納会員約90名含む）
入会者数9名、退会者数26名
- *クリスマス寄付として子どもたちへTシャツが配布されました。
- *新入会員からの今後の会の活動に向けた提案が届いています。

次に、以下の項目について協議されました。

1. H25年の支援契約終了とその後について

(1) 今後の総会にむけて、会員にアンケートを実施しその後の方向を検討しようとしています。

会員の意見を集めるに先だって、①未就学児童の状況 ②公立学校の設置状況 ③SCMSIの活動・経営などの状況を再調査します。

(2) アンケートは、元理事を含め、支部長などの意見も集めて、質問項目を検討し作成します。なお、本事業を促進するため、経験や知識の豊富な若干名の会員にも参画してもらい、「アンケート作成委員会」を設置の方向で、次回の理事会で再検討することになりました。

「あなたの声」をお寄せください

◆支部長さんをお願い

今年度も総会の当日に理事と支部長の合同会議を開きます。総会では「支援契約終了」という大きな議題があります。各支部長は、出席できない会員の皆さまのご意見を救い上げていただくことが大切なので、よろしくお願いいたします。

◆会員の皆さまをお願い

会の今後の運営に関して、皆さまの積極的なご意見をお寄せください。

2. 平成22年度総会の開催について

開催日時：2011年（H23年）6月25日（土）
午後2時より

場 所：台東区生涯学習センター（予定）

*理事・支部長合同会議は午後1時より

3. 次回の理事改選について

契約終了後の1年前に、3人の理事が任期満了になります。理事の任期は1期2年で、2期が限度となります。

ただし、規約により会長は再選が可能です。この事案については、次回の理事会で協議することになりました。

次期臨時理事会は4月11日（月）午後12時30分より開催予定です。

コミュニティ だより

里子の卒業おめでとございます！

今年の卒業式の日程と、卒業する里子について報告が届きました。

ただし、大学奨学生とSCMSIカレッジ生については報告待ちです。



ニアン小学校での卒業式風景(2009年)

3月23日（水） 各小学校（レムエヘク以外）
3月24日（木） デコロン・ハイスクール
3月25日（金） レムエヘク小学校
レムエヘク・ハイスクール
カレッジ

*レムエヘク小学校	20名
*ベネフ小学校	7名
*レムエロー小学校	5名
*ラヒット小学校	6名
*ニアン小学校	8名
*ツブラン小学校	3名
*レムエヘク・ハイスクール	7名
*デコロン・ハイスクール	18名

“子どもたちの 未来を拓く道”

アンケートの作成中です

今、私たちはチボリの子どもたちの教育支援をはじめから31年目の道を歩んでいます。

この道は、現地の子どもの教育機関であるSCMSI（サンタ・クルス・ミッション）と、その支援契約を交わして実行されてきた道です。この契約は、2013年（平成25年）の5月末で一旦終止符が打たれることが、今年の総会で決議されました。

その決議を受けて、前回の理事会では今後の会の活動に関する道筋を真剣に話し合いました。そして、会員のみなさまのご意見やお考えを聞かせていただく方法として、アンケートを作成することになりました。

学びたい子どもが、まだいるのですが…

チョッと過去の契約更新をした時々のことを振り返ってみたいと思います。最初の更新は10年間の期間で結び、その後からは、期間を短縮して3年ごとに更新をしてきました。これは、「チボリには学ぶ機会を待っている子どもたちが、まだ大勢いる」という状況でしたし、彼等を取り巻く生活環境を向上させることも必要なことだという観点から期間を短く区切りながら更新を続けてきました。

では、「全ての子どもが教育を受ける機会を得たから、もう支援の必要性がなくなったので、更新をしないということに決まったのか？」ということですが、残念ながら、「はい、そうなのです！」とは言えません。

チボリの子どもたちの中には、山奥の交通の便が悪い所に住んでいる子や、家族の生活を助けるために『働き手』となっている子どもは、現在でも未就学児として各所に点在し暮らしています。まだ、学校で勉強をしたい子どもたちがいます。

以前の状況に比べると、チボリの村の人たちの生活は、国の発展とともに、それなりの向上をしていますが、まだ支援を必要とする状態なのです。



二アン小学校の下校風景

ここで、一旦 立ち止まって…

では、契約の再更新をしないのは何故かということですが、

その理由の筆頭に挙げられることとしては、会員数が減ってきていることです。会の収入に不安定さが増してくると、再契約は出来ません。会費を滞納されている方（約90名）も増えてきています。このような会員の方々には随時、その旨をお知らせして連絡を取らせていただいています。

このような会の活動の支柱になっていることで、先行きが不透明になってきている昨今ですから、今期で、一旦立ち止まり、今後のことを模索することになったのです。

そして、この契約切れになるまでの時間を使って、私たちの会の抱えている問題の解決策を練りながら、「チボリの子どもたちの未来を拓く道」を、みなさまのご協力を得ながら見つけていきたいと思います。

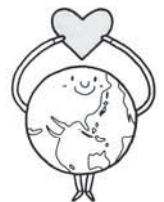
現地では自分たちの手で新しい支援先の開拓をしたり、教師

の給料を下げたりしながらの自助努力をして、教育を受けたい子どもたちへの扉は閉ざさないように頑張ってくれています。

30年を経過した現在、やっと少数民族にも光が当たってきました。成長した里子たちが社会で活躍するようになってきたことは、多くの他の少数民族にも希望を与えており、これは、30年の歳月を経た成果です。

みんなで「未来を拓く道」を
一緒に考えましょう。

小林知津



文部科学省選定「マリアのへそ」自主上映



昨年の11月19日、フィリピンのストリートチルドレンたちの貧しくも優しさにあふれた日常生活を演じる家族の物語「マリアのへそ」(監督・野澤和之)の上映会(実行委員・千葉県会員の弓場清孝さん)が船橋中央公民館でありました。

当日、チボリを訪問(2007年訪問)したときのDVD上映や会のパンフレット・募金箱もおいてあり、会の活動紹介もありました。以下は参加した千葉県会員の福田昌佳さんの感想です。



野澤監督(右)と主催者(弓場)

福田昌佳(千葉県)

上映前に見たチボリのDVDはなつかしかった。道路も建物も大分よくなり、なにより子どもたちの明るさがうれしかった。また、他NGO団体がセブ島で日本語教育支援をしているのに興味を引いた。

マニラの路上生活者の生活を描いた、野澤和之監督の「マリアのへそ」は、主人公の少女マリアは6才、マリアの兄・ジョエル12才、長男・アラニオ16才が、酒浸りの父を3人で支えて生活する、明るくてたくましい映画だ。そして、元ストリートチルドレンだった牧師のブッチ先生の家族のやさしく温かい目がよく伝わってくる。

市場で野菜くずを拾ったり、新聞売りしたり、ときにはリンゴひとつつくすね、お父さんが平等に平等にと切り分けて食べるシーンにチボリの人たちもとても上手に平等に分ける話を思い出した。

上映後の講演で、野澤監督は「子どもは産まれた時はお母さんとへそでつながっていたから、母を慕う心を題に表したかった」と話された。

どうして大統領が変わっても、貧しい人はいつまでも貧しいのだろうか。この国は、少しずつはよくなっているのだから、チボリの子供たちはまだまだ支援が必要なのでは。不況だから、年金生活に入ったからと色々あると思います。私は少ない年金から色々なボランティア活動の金に当てる生活をしています。戦時戦後生きてきた私にはぜいたくはいらないのです。

“人みな我が飢え知りて
人の飢え知らず”
沢庵禅師

ティナラク織の伝統の美しさと魅力

恩田和美(東京都)



一昨年は新型インフルエンザの影響を受け開催中止になった文京ボランティアまつりが、昨年11月、例年のように文京区民センター全館を使って行われました。文京ボランティアまつりは昨年で20回を迎え、69もの団体の参加がありました。チボリの会は10回近く参加しています。

チボリの会の店には前回ポシェットを買ってくださった方が「愛用しています」と顔を出してくださったり、その方のお友だちは「同じものはありませんか、ぜひ欲しいのですが」と注文されたり。「ペンケース使っています」と声をかけてくださる方、また、寄付にと2千円置いていかれる方もいらっしゃいました。一目見て「すてきですね」とティナラク織を気に入ってくださる方には、チボリの会のこととティナラク織の魅力について手短にお話します。

様々な催しに参加することによって、会のこと、ティナラク織の伝統の美しさを一人でも多くの方に知っていただきたいと願っています。楽しく活動させていただいた一日でした。



以前買ってくださったポシェットと共にご来店!!

クリスマスミサで始まった今年最後のバザー

12月4日(土)東京お茶ノ水YWCAで行われた”Christmas for Peace 2010”に参加。昨年より、イベント中心の催しになり、バザー会場は限られたスペースでの展示販売となりましたが、始まりを告げる「ひととき礼拝」にも参加して厳かに始まりました。

右記は、初めて参加した千葉県会員の弓場さんからの感想です。

弓場清孝(千葉県)

12月4日に行われた東京お茶ノ水YWCAのバザーに参加しました。わたしといたしましては、初めての経験で、貴重な1日を過ごさせていただきました。

そして、後から考えてみますと、参加されている方々の足手まといになったのではないかと少し不安になりました。ありがとうございました。

会員のひろば

松本喜義(富山県)

毎年のクリスマスカードを出すことが年中行事になり、里子ちゃんからも返事がくるので楽しみです。英語がどんどん上手に書けるようになって、すばらしいです。絵も上達していて大事にしています。

金丸登美(長崎県)

チボリニュースを読ませて頂き、この30年のすばらしい進歩に改めて感激しました。これからもこの会が少しずつでも発展していきますようお祈りいたします。

大友孝子(宮城県)

いつもお世話様です。年をとって思うように頭がはたらかない状態ですが、もう少し里親支援を頑張ります。

稲田俊治(鳥取県)

できれば里子を大学まで出してやり、自活させ、その子がチボリに戻り、貧しい子どもたちを助ける方向にしたいです。

近い将来マニラに永住を考えているので、家族ぐるみの付き合いができればベストだと思っています。

奥川尚子(岡山県)

高校3年生になった里子(男の子)の写真をいただき、うれしくなりました。英語もとても上手で楽しみです。

クリスマスプレゼント
ありがとう!



プレゼントのTシャツうれしそう!



レゲル・アン・ダッキンキン
ミンダナオ国立大学3年

親愛なるお父さん、

お元気にお過ごしのことと思います。私も元気でやっていますので、どうぞ心配しないでください。

2学期の授業はもう今週の月曜日に始まりました。1学期に受けたすべての科目に合格したうれしい報告をいたします。私は努力して4年で修了できるように頑張ります。

お父さん、私は医学部を卒業し、私の夢である医者になることを望んでいます。もし、医者になる夢が叶わなかったら、教師になりたいと思っています。

11月9日から11日まで、27回の創立記念日と

故郷のレイクセブの14回のヘロブン祭があり、小学校から大学までの様々な学校のパレードで始まりました。それに続いて鼓笛隊の公開演技やチアダンス競技もありました。それは本当に素敵で楽しいものでした。私の母校のデコロン・ハイスクールが鼓笛隊の部で1位になり、チアダンス競技の部で2位になりました。そのためにハイスクール時代がなつかしくなりました。

大学生活は1回しかありません。いったん卒業すれば、それで終わりです。私たちは毎日をそれが最後の日のように生きなければなりません。なぜなら、人生は厳しく自分の最期の日がいつかわからないからです。

神の祝福がお父さんとご家族の上にありますように。

事務局からのおたより

■クリスマス特別寄付

皆さまのご協力ありがとうございました。
お陰さまで20万円を送金することができました。
現地からは、通学に着るTシャツを子どもたちに
クリスマスギフトとしてプレゼントできたと報告
が届きました。



新しいTシャツ 似合うでしょう!?

■総会開催の日程について

今年の総会は6月25日(土)14時からを予定して
います。詳細はチボリニュース5月号でご案内し
ます。

■里子の卒業のお知らせ

各里親の皆さまには別紙で報告させていただきま
した。現地の新学期は6月から始まります。
今後の進路等については報告が届きましたらお知
らせいたします。

■“布風船”さんでの販売が終わります

昨年春からチボリ民芸品を置いていただきました
が、2月末をもって終了します。
1年間、ご協力ありがとうございました!

■会費状況のお知らせと自動払込制度のご案内

正会員の皆さまの会費状況を今号のチボリニュー
スに同封しました。ご確認ください。また、会費の
支払いにゆうちょ銀行の自動払込制度をご利用い
ただくと手数料も金額に関わらず1件50円とお
得です。ぜひご利用下さい。詳しくは事務局まで。
(03-3835-1545)

■書き損じはがきを送っていただけませんか

書き損じや、使わずに余っているはがきを送って
いただけませんか。送っていただいたはがきは、
郵便局で手数料5円を引いた45円分の切手に交
換して、通信費に充てさせていただきます。

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます 敬称略(2010年11月11日~2011年2月10日)

■新入会員 (<>内はご紹介者又は入会のきっかけ)

神奈川県・株式会社あや<山田誠之輔・河原紀夫>、鳥取県・稲田俊治<弓場清孝>、
栃木県・迎佐也子<迎岱子>

■ご寄付者 (ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます)

秋山みち子 浅井保之 東文恵 荒木のり 安藤美知子 石塚艶子 今泉典子 井上強 上野美奈 大野美津子
尾崎富士男 柏木三知子 河田洋子 河野二郎 金丸登美 川波カヲリ 北浦千夏 五井早苗 坂戸たつみ
佐藤静子 志村信夫 杉山幸子 鈴木静代 鈴木淑子 園田多代子 反納新一 田井和子 高井和子 高巢政子
高田幸子 田村幸子 富永正子 橋本あき応 波多江寿子 平田悠貴子 平山妙子 福田昌佳 日名恵次
野田賢子 藤倉寿美子 前川美奈子 松谷桂次 三沢ひろこ 水口道子 美山紀世 宮脇和子 森崎純子
森茂丸 山崎佐智子 山崎美代子 山田須賀 弓場清孝 吉澤頼子 渡辺政一 匿名の方3名

■切手(未使用、使用済含む) その他

東文恵 青木文子 鑑仁志 池田禎子 池田美智子 石原修 植木久美子 内村明彦 大須賀育代 岡田満喜子
荻原弘美 恩田和美 かがちゅうスポーツ 笠井たい子 柏崎ハナ 梶原紀子 桂典子 カトリック手稲教会
五井早苗 小島綾子 小玉なほみ 小室佑子 佐保恵子 芹田美津子 須田秋夫 須田晃 角谷孝子
大濠聖母幼稚園恵慈会 平由美 高橋金蔵 長澤ヤス子 檜岡トキ子 橋口頼道 引地和美 福田昌佳
藤垣ヨリ子 藤倉寿美子 藤原通子 堀井照重 三井摂子 三宅秀代 丸山佳代子 森崎純子 山田茅畝子
吉澤頼子 渡部玲子

■ボランティア(会報、バザー、翻訳、その他)

安藤美知子 恩田和美 岡澤麻里 佐伯三郎
武田とよ子 富江崇 長崎すみ子 人見裕哉 南信次
増田憲治 溝口道代 弓場清孝 渡辺洋子

■編集後記

新燃岳の噴火、近年にない大雪と当地の皆様は
毎日大変な事と思います。平穏な生活に早く戻
られるよう、心からお祈りいたします。(大須賀)

お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。

